UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

平成28年度 後学期

富山大学 オープン・クラス 受講生募集要項

県民カレッジ連携講座

オープン・クラスとは

富山大学では、
「オープン・クラス」と称して、
学生のための通常の授業を
地域のみなさまに公開し、
学びの場を広く提供しています。
ぜひ本学の学生・教職員と
一緒にキャンパスライフを
ご体験ください。

富大生と一緒に学びませんか？

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 28 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	10月3日(月)～12月22日(木) ※一部日程が異なる科目があります。 「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
冬季休業	12月23日(金)～1月4日(水) ※一部日程が異なる科目があります。 「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
授　　業	1月5日(木)～2月2日(木) ※一部日程が異なる科目があります。 「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
補　　講	2月3日(金)～2月9日(木) ※科目によって異なる場合があります。 担当教員の指示に従ってください。		2月3日(金)～2月16日(木) ※科目によって異なる場合があります。 担当教員の指示に従ってください。
注　　意	*1月13日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。		
	*12月22日(木)は金曜日の授業を行います。 *1月10日(火)は月曜日の授業を行います。		

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく一般市民の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 4
Ⅱ　受講手続 …… 5
Ⅲ　受講に際して …… 6
Ⅳ　その他 …… 7
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育
・教養教育（五福）…… 8
〇専門科目
・人文学部 …… 10
・人間発達科学部 …… 12
・経済学部 …… 14
・理学部 …… 16
・工学部 …… 18

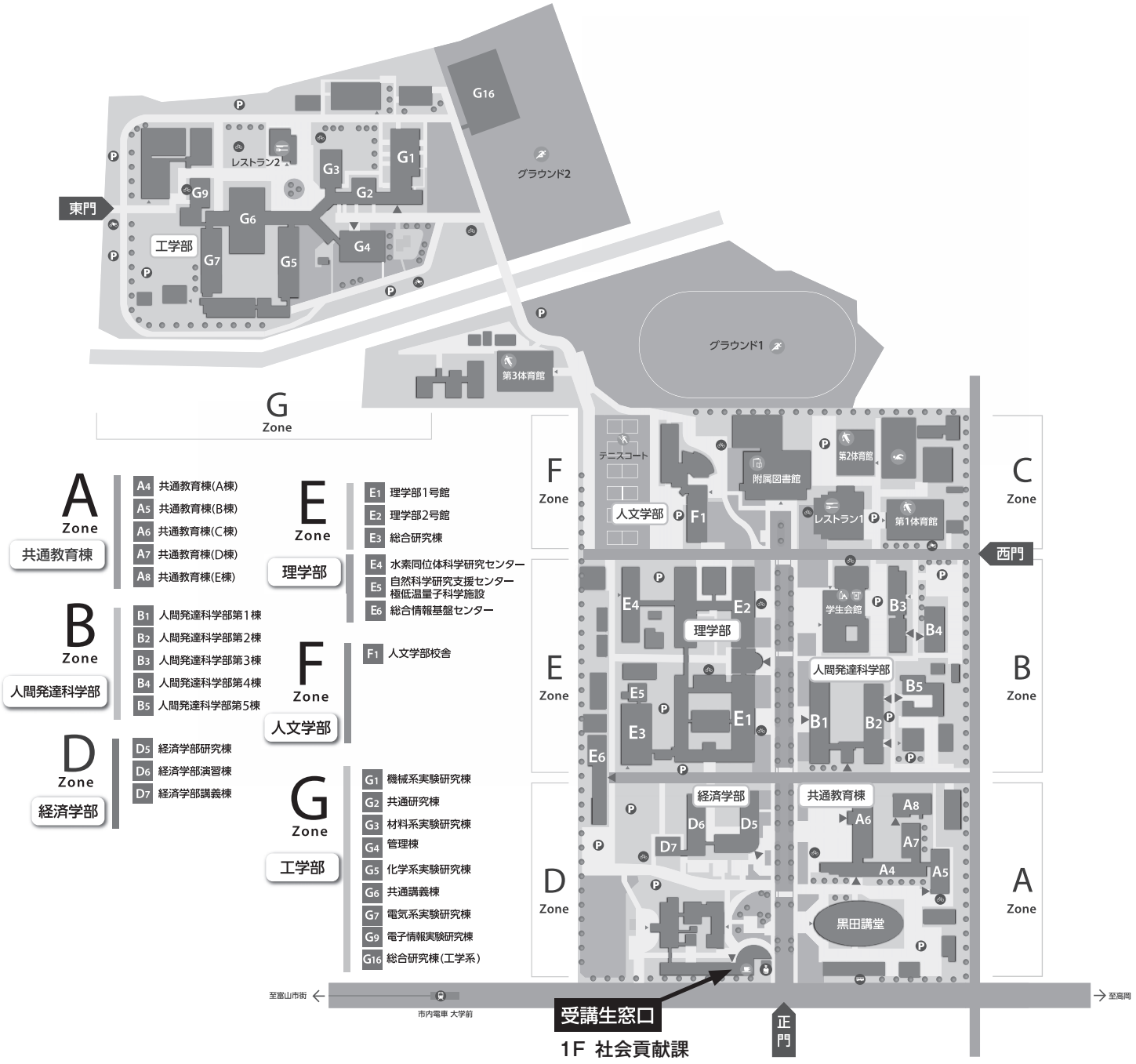
高岡キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 22
Ⅱ　受講手続 …… 23
Ⅲ　受講に際して …… 24
Ⅳ　その他 …… 25
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部 …… 26

杉谷キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 28
Ⅱ　受講手続 …… 29
Ⅲ　受講に際して …… 30
Ⅳ　その他 …… 31
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育
・教養教育（杉谷）…… 32
受講希望調書 …… 33

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　社会貢献課

〒930-8555　富山市五福3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ８～Ｐ19参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

Ａ　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

Ｂ　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

Ｃ　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受け付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成28年10月３日（月）～平成29年２月２日（木）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成28年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の2/3以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を**９月２日（金）から９月21日（水）まで**に下記五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　社会貢献課
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成28年10月3日（月）～10月17日（月）

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

また、五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育
　　学務課　教養教育チーム　　電話 076-445-6031
○　人文学部
　　人文学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6138
○　人間発達科学部
　　人間発達科学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6258
○　経済学部
　　経済学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6517
○　理学部
　　理学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6546
○　工学部
　　工学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学のすすめ	市　村　俊　信	木・5	未定	10	A	
2	人間と倫理	澤　田　哲　生	月・6	未定	5	A	
3	人間と倫理	田　畑　真　美	火・5	未定	3	A	
4	現代と教育	若　山　育　代	木・5	未定	3	A	
5	日本の歴史と社会	高　橋　浩　二	火・1	未定	5	A	
6	西洋の歴史と社会	入　江　幸　二	火・2	未定	5	A	
7	日本文学	奥　野　美友紀	火・1	未定	5	A	
8	日本文学	朝　木　敏　子	火・2	未定	5	A	
9	外国文学	赤　尾　千　波	木・5	未定	3	A	
10	外国文学	吉　田　　泉	火・5	未定	5	A	
11	言語と文化	呉　人　　恵	火・2	未定	5	A	
12	言語と文化	宮　城　　信	火・1	未定	10	A	
13	音楽	大　谷　多賀子	月・2	未定	5	A	
14	現代社会論	伊　藤　智　樹	火・5	未定	5	A	
15	日本国憲法	神　山　智　美	火・2	未定	10	A	
16	経済生活と法	石　田　　眞	火・5	未定	5	A	
17	市民生活と法	福　井　　修	火・2	未定	5	A	
18	はじめての経済学	本　間　哲　志	月・2	未定	5	A	
19	産業と経済を学ぶ	酒　井　富　夫	火・2	未定	5	A	
20	産業と経済を学ぶ	龍　　世　祥	木・5	未定	5	A	パソコン使用（端末室の授業）
21	地域の経済と社会・文化	鈴　木　晃志郎	火・5	未定	10	A	
22	地球と環境	大　藤　　茂	月・2	未定	3	A	
23	生命の世界	篠　原　寛　明	水・7	未定	3	A	
24	生命の世界	若　杉　達　也	月・2	未定	5	A	

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
25	生命の世界	髙　﨑　一　朗	木・5	未定	5	A	
26	化学物質の世界	林　　直　人	金・6	未定	5	A	
27	化学物質の世界	中　路　　正	月・2	未定	5	A	
28	物理の世界	成　行　泰　裕	火・5	未定	3	A	
29	社会と情報の数理	平　井　俊　行	火・1	未定	5	A	
30	技術の世界	安　藤　彰　男	木・5	未定	5	A	
31	材料の科学	波多野　雄　治	金・6	未定	制限なし	A	
32	生活の科学	神　川　康　子	火・5	未定	10	A	
33	コンピュータの話	長谷川　英　之	木・5	未定	5	A	
34	ドイツ語B	黒　田　　廉	月・4	未定	2	B	事前に面接を行います。
35	ドイツ語B	Wolfgang Zoubek	水・4	未定	2	B	
36	ロシア語B	青　木　恭　子	月・2	未定	5	B	
37	ラテン語B	佐　藤　真基子	月・2	未定	5	A	
38	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・4	未定	3	A	7.5 週で 7,300 円
39	健康・スポーツ論	大　川　信　行	月・4	未定	5	A	7.5 週で 7,300 円
40	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・1	未定	5	A	7.5 週で 7,300 円
41	健康・スポーツ論	布　村　忠　弘	金・2	未定	10	A	7.5 週で 7,300 円
42	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・2	未定	3	A	7.5 週で 7,300 円
43	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・2	未定	5	A	7.5 週で 7,300 円
44	応用情報処理	上　木　佐季子	火・4	未定	3	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
45	言語表現	佐　山　三千雄	金・2	未定	5	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口 (社会貢献課) にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	西洋古典語	永　井　龍　男	月・5	人文 601	若干名	B	
2	西洋思想史	永　井　龍　男	火・3	人文 1	若干名	B	
3	哲学購読	永　井　龍　男	木・1	人文 3	若干名	A	
4	哲学特殊講義	永　井　龍　男	木・5	人文 5	若干名	C	
5	哲学講読	池　田　真　治	火・4	人文 601	3	B	
6	西洋思想史	池　田　真　治	金・2	人文 1	5	B	
7	人間学講読	田　畑　真　美	水・1	人文 3	3	B	
8	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	人文 601	3	C	
9	現代と思想	澤　田　哲　生	木・3	人文 6	5	A	
10	音声学Ⅱ	安　藤　智　子	火・3	人文 701	若干名	B	
11	言語学概論Ⅰ	安　藤　智　子	木・4	人文 4	若干名	A	
12	心理学概論Ⅰ	黒　川　光　流 坪　見　博　之 喜　田　裕　子	金・5	人文 4	5	A	
13	日本史演習 1	鈴　木　景　二	月・4	人文 605	3	B	
14	日本史基礎演習	鈴　木　景　二	月・5	人文 1	3	A	
15	日本史概説Ⅰ	鈴　木　景　二	水・1	人文 6	5	B	
16	日本史特殊講義	熊　谷　隆　之	木・3	人文 1	5	B	
17	古文書学実習	熊　谷　隆　之	金・3	人文 2	5	B	
18	東洋史概説 Ⅱ	澤　田　　稔	火・4	人文 3	5	B	
19	歴史文化特殊講義	徳　永　洋　介	水・2	人文 3	若干名	B	
20	西洋史特殊講義（1）	入　江　幸　二	金・2	人文 4	5	B	
21	西洋史購読	漆　間　真由美	火・3	人文 4	3	B	
22	社会学概論	佐　藤　　裕	月・2	人文 6	5	A	
23	人文地理学概論	鈴　木　晃志郎	火・4	人文 4	5	A	教室が入る限り何人来ても構いません。
24	文化人類学特殊講義	藤　本　　武	木・5	人文 4	若干名	B	
25	文化人類学概論	野　澤　豊　一	木・4	人文 6	5	A	
26	国際関係論概論	竹　村　　卓 林　　夏　生	木・1	人文 4	若干名	A	
27	国際関係論特殊講義	竹　村　　卓	木・5	人文 3	2	B	第 1 回目の授業時にレポート、毎回ニュースウォッチの提出を求めます。
28	社会文化特殊講義	林　　夏　生	火・2	人文 2	若干名	B	
29	ロシア文化特殊講義	吉　田　俊　則	月・4	人文 4	5	B	
30	日本語学特殊講義	小助川　貞　次	月・2	人文 5	若干名	C	
31	日本語学講読	小助川　貞　次	水・1	人文 4	若干名	C	
32	日本文学特殊講義	呉　羽　　長	水・2	人文 6	5	C	
33	日本文学史	小　谷　瑛　輔	木・3	人文 4	5	A	

学部名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
34	朝鮮言語文化演習	和　田　とも美 上　保　　敏 宋　　有　宰	木・4	人文211	5	C	朝鮮半島の言葉や文芸作品について論文を書く練習をする授業です。 宋先生の担当４回分は１日間で集中的に実施します。
35	朝鮮言語文化講読	上　保　　敏	金・4	人文211	3	C	中期朝鮮語資料を講読する予定です。
36	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	火・4	人文211	5	C	中級以上の学習者対象
37	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	木・1	人文211	3	B	朝鮮語学習歴２～３年目程度の初級レベルです。
38	中国言語文化演習	大　野　圭　介	火・3	人文417	若干名	B	
39	中国言語文化講読	大　野　圭　介	月・4	人文417	若干名	A	
40	英語学講読Ⅱ	奥　村　　譲	月・4	人文3	3	C	
41	英米言語文化演習Ⅱ	恒　川　正　巳	金・4	人文1	3	B	
42	英米言語文化講読Ⅰ	恒　川　正　巳	木・4	人文2	3	C	
43	英米言語文化演習Ⅰ	大工原　ちなみ	火・1	人文1	3	B	
44	英米言語文化講読Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	人文1	3	C	
45	ドイツ言語文化講読Ⅱ	黒　田　　廉	月・5	人文416	2	C	事前に面接を行います。
46	ドイツ言語文化演習Ⅰ	黒　田　　廉	木・3	人文2	2	B	事前に面接を行います。
47	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（1）	ツォウベク ヴォルフガング	火・2	人文416	2	B	
48	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ツォウベク ヴォルフガング	火・3	人文416	2	C	
49	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ツォウベク ヴォルフガング	火・4	人文416	2	B	
50	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（2）	ツォウベク ヴォルフガング	金・2	人文416	2	B	
51	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（2）	ツォウベク ヴォルフガング	金・3	人文416	2	C	
52	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ツォウベク ヴォルフガング	水・2	人文416	2	C	
53	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ツォウベク ヴォルフガング	水・3	人文416	2	B	
54	ヨーロッパ言語文化特殊講義	中　島　淑　恵	金・5	人文6	若干名	B	
55	フランス文学史	中　島　淑　恵	月・2	人文3	若干名	B	
56	ロシア言語文化講読Ⅱ	武　田　昭　文	火・2	人文316	5	B	
57	ロシア語学概論	中　澤　敦　夫	月・5	人文316	5	B	
58	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	人文316	5	C	
59	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	木・4	人文316	5	B	
60	ロシア文学史	武　田　昭　文	月・3	人文316	5	B	
61	ロシア言語文化演習Ⅰ	武　田　昭　文	月・4	人文316	5	B	
62	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ マルガリータ	金・2	人文316	5	C	
63	ロシア文化論	カザケーヴィチ マルガリータ	金・4	人文316	5	C	
64	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ マルガリータ	水・2	人文316	5	C	
65	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ マルガリータ	水・3	人文316	5	B	
66	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ マルガリータ	水・4	人文316	5	C	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：人間発達科学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	心理学研究法	小川　亮	月・5	人間端末室	1	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
2	学習心理学	小川　亮	木・3	人間実践センター	2	B	パソコン使用（Moodle 使用）
3	認知心理学	小川　亮	金・5	人間実践センター	2	B	パソコン使用（Moodle 使用）
4	心理学教育論	小川　亮	金・2	人間実践センター	3	B	パソコン使用（Moodle 使用）
5	発達心理学	姜　信善	木・4	人間 141	3	B	
6	発達臨床心理学	近藤龍彰	火・2	人間実践センター	5	B	
7	青年心理学	姜　信善	金・4	人間 112	3	B	
8	コミュニティ心理学	近藤龍彰	水・1	人間 117	5	B	
9	カウンセリング	石津憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	心理療法やカウンセリングを現在受けている者と過去に受けていた者は担当教員と受講について相談してください。
10	学級集団心理学	佐藤　徳	金・1	人間 141	5	A	
11	学校文化論	増田美奈	木・1	人間 113	3	A	
12	地域交流活動論	隅　敦	木・2	人間 332	5	A	
13	幼児理解と相談支援	小林　真	火・1	人間 111	5	A	
14	幼児教育・保育課程論	若山育代	金・3	人間 113	3	C	
15	保育内容総論	若山育代	火・4	人間 111	3	B	
16	社会福祉概論Ⅰ	志賀文哉	金・1	人間 331	5	A	
17	社会学	志賀文哉	金・4	人間 331	5	B	
18	知的障害児の生理・病理Ⅰ	宮　一志	木・1	人間 114	10	B	
19	病弱児の心理・生理・病理	宮　一志	水・1	人間 114	10	B	
20	軽度発達障害児教育総論	水内豊和	火・4	人間 114	3	B	
21	就労支援論	志賀文哉	木・3	人間 116	5	B	
22	司法福祉論	小林　真	木・4	人間 114	3	B	
23	保育原理	西館有沙	木・4	人間 113	5	A	
24	保育者論	若山育代	月・1	人間 111	3	B	
25	保育の心理学Ⅰ	小林　真	月・5	人間 113	3	A	
26	家庭支援論	西館有沙	火・4	人間 113	5	B	
27	地域と健康	布村忠弘	木・2	人間 311	10	B	
28	スポーツ心理学	福島洋樹	金・2	人間 311	10	B	
29	スポーツ社会学	神野賢治	月・4	人間 311	3	B	
30	スポーツ史	大川信行	水・1	人間 331	3	B	
31	運動生理学	堀田朋基	月・1	人間 331	5	B	
32	解剖学	布村忠弘	火・4	人間 311	5	A	
33	学校と健康	布村忠弘	木・4	人間 342	10	B	

学部名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
34	スポーツ指導論	佐伯聡史	金・2	人間 332	5	B	
35	スポーツ運動学	佐伯聡史	火・3	人間 311	5	B	
36	スポーツ動作分析法	堀田朋基	火・4	人間 342	5	B	
37	環境科学入門	片岡弘 林衛	水・2	人間 341	5	A	
38	環境とエネルギー	成行泰裕	月・1	人間 211	3	C	
39	化学物質の機能と環境	片岡弘	火・2	人間各実験室	5	A	パソコン使用（Moodle 使用）教室については、別途お問い合わせください。
40	科学技術社会論（科学と技術の社会史）	林衛	木・1	人間端末室	5	A	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
41	地球表層変動学	椚座圭太郎	火・4	人間各実験室	5	B	パソコン使用（Moodle 使用）教室については、別途お問い合わせください。
42	生活環境デザイン	神川康子	水・2	人間 211	5	A	
43	カラーコーディネート論	秋月有紀	火・4	人間 211	5	B	
44	生活工学	秋月有紀	木・1	人間 211	5	A	
45	都市景観論	秋月有紀	木・2	人間 211	5	A	
46	ヒトの動きの機能解剖学	鳥海清司	火・1	人間 311	3	A	パソコン使用（Moodle 使用）
47	身体の形態と機能の測定	鳥海清司	金・3	人間 332	3	C	
48	人間安全保障論	池田丈佑	水・2	人間 111	3	B	パソコン使用（Moodle 使用）
49	比較地域論	山根拓	月・3	人間 211	5	B	
50	地域企業論	根岸秀行	木・3	人間 112	3	B	
51	基礎地域史	中村只吾	火・2	人間 113	5	B	
52	日本社会史概論	中村只吾	火・3	人間 115	5	B	
53	組織マネージメント論	大坪史尚	火・3	人間 331	3	B	
54	日本文学研究法	西田谷洋	金・2	人間 342	3	B	
55	数理システム概論	山口範和	木・2	人間 331	3	A	
56	線形システム概論	大森克史	木・4	人間 332	3	B	
57	情報幾何学	山口範和	火・3	人間 331	3	B	
58	モデル化とシミュレーション	大森克史	火・4	人間 332	3	B	
59	基本統計	山口範和	火・2	人間 331	3	B	
60	教育工学概論	成瀬喜則	金・2	人間 333	3	B	
61	情報教育概論	黒田卓	金・3	人間 333	3	B	
62	メディア芸術論	鼓みどり	火・3	人間 342	3	A	
63	メディアコミュニケーション概論	鼓みどり	木・2	総合情報基盤センター 2F	3	A	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	経済学入門	岩田 真一郎	火2	未定	3	A	パソコン使用（Moodle 使用）
2	特殊講義 Microeconomics	岩田 真一郎	木2	未定	3	B	
3	アジア経済論	王 大鵬	水6，水7	未定	5	B	13,300 円
4	西洋経済史	大西 吉之	月2，木2	未定	5	B	13,300 円
5	地域経済論	小柳津 英知	火4，木1	未定	3	B	13,300 円
6	国際経済学	垣田 直樹	水1，金3	未定	3	C	13,300 円
7	外国書講読Ⅱ	金 奉吉	月4	未定	3	B	
8	地域社会学Ⅰ	高山 龍太郎	月4	未定	5	B	
9	マクロ経済学Ⅱ	堂谷 昌孝	月2，木2	未定	10	C	13,300 円
10	財政学	中村 和之	月3，金2	未定	5	B	13,300 円
11	経済学入門	中村 和之	火2	未定	5	A	
12	景気循環論	新里 泰孝	月4	未定	5	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
13	証券市場論	本間 哲志	金3	未定	20	B	
14	政治経済学	松山 淳	火1，水2	未定	5	B	パソコン使用（Moodle 使用）13,300 円
15	経済史総論	矢島 桂	木6，木7	未定	10	B	13,300 円
16	環境経済学	龍 世祥	月1，木3	未定	5	B	13,300 円
17	経営史	長谷部 宏一	火3，金1	未定	3	A	13,300 円
18	ゲーム分析	平井 俊行	月2，木2	未定	5	B	パソコン使用（Moodle 使用）13,300 円
19	経営システム	古川 勝	火6，火7	未定	10	B	指定テキストでの自習が要件（前提）となります。13,300 円
20	人的資源管理	馬 駿	金6，金7	未定	3	B	13,300 円
21	比較経営論	森岡 裕	木6，木7	未定	10	B	13,300 円
22	特殊講義 富山県の主要業界研究	森口 毅彦	金4	未定	10	B	
23	オペレーションズ・リサーチ	横山 一憲	水1，水2	未定	5	B	13,300 円
24	経営学と経済学で出る数学（経営経済の基礎数学Ⅱ）	横山 一憲	木1	未定	5	A	
25	税法	伊藤 嘉規	木2，木3	未定	5	C	13,300 円
26	民事執行法	岩本 学	月5	未定	3	C	
27	特殊講義 国際私法概説	岩本 学	火3	未定	3	C	
28	環境法	神山 智美	木6，木7	未定	5	B	13,300 円

学部名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
29	国際法	櫻　井　利　江	火4，木1	未定	3	C	パソコン使用 (Moodle 使用) 13,300 円
30	会社法	高　田　　寛	月3，金2	未定	3	B	13,300 円
31	労働法	竹　地　　潔	水6，水7	未定	3	B	13,300 円
32	国際取引法	立　石　孝　夫	火6，火7	未定	10	B	13,300 円
33	債権法Ⅱ（各論）	橋　口　賢　一	火1，水2	未定	5	B	13,300 円
34	法学入門	福　井　　修	木6，木7	未定	3	A	13,300 円
35	刑事訴訟法	八　百　章　嘉	水1，金3	未定	5	B	13,300 円
36	特殊講義 キャリア・デザイン論	船　橋　伸　一	木3	未定	他 (10 名以上も可)	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：理学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	微分積分学Ｂ	数学科	阿　部　幸　隆	金４	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
2	線形代数学Ｂ	数学科	古　田　高　士	金５	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
3	解析学Ⅱ	数学科	藤　田　安　啓	火４	理Ａ３３７	若干名	C	(注１)
4	線形代数学Ⅱ	数学科	川　部　達　哉	月４	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
5	解析学Ⅴ	数学科	池　田　榮　雄	火５	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
6	代数学Ⅰ	数学科	木　村　　巌	火２		若干名	C	(注１)
7	位相空間論Ⅰ	数学科	出　口　英　生	金３	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
8	複素解析学Ⅰ	数学科	藤　田　景　子	月３	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
9	実解析学Ⅰ	数学科	菊　池　万　里	木３	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
10	プログラミングⅡ	数学科	幸　山　直　人	水５		若干名	C	(注１) パソコン使用 （端末室の授業）
11	微分方程式論Ⅰ	数学科	池　田　榮　雄	木４	理Ａ４２４	若干名	C	(注１)
12	代数学Ⅲ	数学科	山　根　宏　之	火４	理Ａ３３６	若干名	C	(注１)
13	幾何学Ⅱ	数学科	永　井　節　夫	木２	理Ａ３３６	若干名	C	(注１)
14	数値解析学	数学科	上　田　肇　一	月４	理Ａ２３９	若干名	C	(注１)
15	数学英語	数学科	菊　池　万　里 永　井　節　夫	火３	理Ａ３３６	若干名	C	(注１)
16	幾何学特論Ａ	数学科	川　部　達　哉	金２	理Ａ２３９	若干名	C	(注１)
17	解析学特論Ａ	数学科	藤　田　景　子	金４	理Ｃ１０５	若干名	C	(注１)
18	情報数理特論Ａ	数学科	上　田　肇　一	月５	理Ａ１３５	若干名	C	(注１) パソコン使用 （端末室の授業）
19	物理学序説Ⅱ	物理学科	池　本　弘　之 桑　井　智　彦	木４		5	A	
20	物理学概論Ⅱ	物理学科	栗　本　　猛 森　脇　喜　紀	木４		5	A	
21	力学序論	物理学科	桑　井　智　彦	火１	理Ａ２３９	若干名	A	
22	物理数学Ａ	物理学科	栗　本　　猛	金４	理Ａ２３８	5	C	
23	力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	金３	理Ａ２３８	5	B	
24	電磁気学Ⅰ	物理学科	森　脇　喜　紀	火2，金2	理Ｃ１０４	5	A	13,300 円
25	熱力学	物理学科	田　山　　孝	火４	理Ａ２３８	若干名	B	
26	統計力学	物理学科	飯　田　　敏	月1，火3	理Ａ２３９	5	C	熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。 パソコン使用（Moodle） 13,300 円
27	量子力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	月２	理Ａ２３９	若干名	C	
28	物性物理学Ａ	物理学科	池　本　弘　之	火２	理Ａ２３９	若干名	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
29	核・素粒子物理学Ａ	物理学科	兼　村　晋　哉	金２	理Ａ３３６	5	C	
30	電磁波物理学	物理学科	小　林　かおり	水２	理Ａ４２４	5	B	量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。
31	化学概論Ⅱ	化学科	樋　口　弘　行	木３		５名程度	A	
32	放射線基礎学	化学科	波多野　雄　治	火１		若干名	A	
33	化学熱力学Ⅰ	化学科	岩　村　宗　高	金４	理Ａ３３７	５名程度	A	

学部名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
34	量子化学Ⅰ	化学科	野　崎　浩　一	火１	理Ａ２３８	５名程度	B	
35	有機化学Ⅱ	化学科	林　　直　人	月５	理Ａ４２４	５名程度	A	
36	化学反応学	化学科	大　澤　　力	水１	理Ａ２３８	５名程度	B	
37	無機化学Ⅰ	化学科	柘　植　清　志	月２	理Ａ４２４	５名程度	A	
38	構造有機化学	化学科	林　　直　人	月１	理Ａ４２４	５名程度	B	
39	反応有機化学	化学科	横　山　　初	水２	理Ａ２３８	５名程度	B	
40	生化学	化学科	井　川　善　也	金２	理Ａ４２４	10 名程度	B	有機化学の基礎知識に加え、生物学科「基礎生化学」を受講済み，程度の基礎知識をもつことが望ましい。
41	化学平衡学	化学科	原　　正　憲	火１	理Ｃ２０３	若干名	B	
42	溶液化学	化学科	鈴　木　　炎	金２	理Ｃ２０４	若干名	C	
43	材料科学	化学科	田　口　　明	火２	理Ｃ２０３	10 名程度	B	
44	合成有機化学	化学科	宮　澤　眞　宏	木２	理Ｃ１０４	５名程度	C	
45	基礎細胞遺伝学	生物学科	岩　坪　美　兼	金４	理Ｃ２０３	5	B	
46	植物生理学	生物学科	唐　原　一　郎	水２	理Ｃ１０５	5	B	
47	動物生理学	生物学科	菊　川　　茂	木２	理Ａ２３８	５名程度	A	
48	発生制御学	生物学科	若　杉　達　也	火２	理Ｃ１０５	5	C	
49	共生機能科学	生物学科	玉　田　　努	木１	理Ａ２３８	5	B	
50	一般地質学	地球科学科	大　藤　　茂	火１	理Ａ４２４	若干名	A	
51	地球内部物理学	地球科学科	渡　邊　　了	火２	理Ａ３３７	５名まで	B	
52	岩石学	地球科学科	石　崎　泰　男	木２	理Ａ３３７	若干名	B	
53	構造地質学	地球科学科	大　藤　　茂	金２	理Ａ３３７	若干名	B	
54	古生物学	地球科学科	柏　木　健　司	金４，金５	理Ａ２３９	若干名	B	13,300 円
55	地球流体力学	地球科学科	安　永　数　明	火３	理Ａ３３７	若干名	C	
56	環境基礎生物学Ａ	生物圏環境科学科	中　村　省　吾	金３	理Ｃ１０４	若干名	B	
57	環境基礎化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	月５	理Ｃ１０５	若干名	A	
58	生態学	生物圏環境科学科	石　井　　博	木１	理Ａ２３９	若干名	B	
59	生理化学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	水２	理Ａ３３７	若干名	B	
60	保全生物学	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志	水１	理Ａ３３７	若干名	B	
61	環境化学計測	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	火２	理Ａ４２４	若干名	B	
62	環境動物生理学	生物圏環境科学科	田　中　大　祐	金２	理Ｃ２０２	若干名	B	
63	環境地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃	火１	理Ｃ１０４	若干名	B	

（注１）当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	電子物性工学３	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	月・1	工・25	5	B	
2	電気回路１	電気電子システム工学科	飴　井　賢　治	月・3	工・27	5	A	
3	ディジタル電子回路	電気電子システム工学科	戸　田　英　樹	水・1	工・26	5	B	
4	アナログ電子回路２	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・2	工・26	5	B	
5	集積回路工学	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	火・2	工・25	若干名	B	
6	電子物性工学１	電気電子システム工学科	森　　雅　之	火・3	工・26	若干名	B	
7	熱・波動	電気電子システム工学科	喜久田　寿　郎	火・4	共 D12	5	A	
8	半導体デバイス１	電気電子システム工学科	前　澤　宏　一	火・4	工・26	若干名	B	
9	電力応用工学	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・2	工・26	若干名	B	
10	電気エネルギー工学２	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	月・2	工・25	若干名	B	
11	電気数学３	電気電子システム工学科	小　出　　明	水・2	工・26	5	B	
12	信号処理工学	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木・1	工・25	5	C	
13	電磁気学１	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	金・1	工・27	5	B	
14	電磁波工学２	電気電子システム工学科	安　藤　彰　男	水・1	工・25	5	B	
15	電気機器工学１	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・3	工・26	5	B	
16	システム制御工学２	電気電子システム工学科	佐々木　和　男	金・3	工・27	若干名	C	
17	計算機工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	金・4	共 D12	5	A	
18	送配電工学２	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	水・2	工・25	5	C	
19	デジタル信号処理	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・2	工・34	10	B	
20	知的システム	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・4	工・34	5	B	
21	ブレインコンピューティング	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・1	工・32	若干名	B	
22	数値解析	知能情報工学科	春　木　孝　之	水・2	工・36	5	B	
23	組込みシステム	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・4	工・32	10	C	
24	離散数学	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	共 C12	5	A	
25	電子回路Ⅰ	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・4	工・34	若干名	B	
26	情報セキュリティ	知能情報工学科	村　山　立　人	火・2	工・32	5	C	
27	マルチメディア工学	知能情報工学科	唐　　政	木・2	未定	10	C	
28	微分積分Ⅱ	知能情報工学科	角　畠　　浩	火・1	共 A31	10	A	
29	プログラミングⅡ	知能情報工学科	酒　井　　充	木・4	共 D11	若干名	B	プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。
30	通信システム	知能情報工学科	菊　島　浩　二	木・4	工・35	5	B	
31	確率論	知能情報工学科	村　山　立　人	月・1	工・31	若干名	A	
32	フーリエ解析	知能情報工学科	長谷川　英　之	月・3	工・35	5	A	
33	材料力学第２	機械知能システム工学科	木　田　勝　之	金・3	工・28	5	B	
34	自動車工学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆 川　口　清　司 小　熊　規　泰	月・3	工・28	若干名	B	
35	基礎材料工学	機械知能システム工学科	會　田　哲　夫	火・1	工・34	5	B	
36	工業数学Ｂ	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐	火・1	工・35	10	B	
37	流体力学	機械知能システム工学科	川　口　清　司	火・1	工・21	5	B	
38	要素設計学第２	機械知能システム工学科	小　熊　規　泰	火・2	工・28	若干名	C	
39	化学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	水・2	共 D11	若干名	A	
40	計測工学・精密測定学演習	機械知能システム工学科	笹　木　　亮	木・1	未定	5	B	
41	基礎熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	木・3	工・27	若干名	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
42	力学第２	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	木・４	共 D22	5	A	
43	強度設計工学	機械知能システム工学科	笠　場　孝　一	木・４	工・27	5	B	
44	シミュレーション工学	機械知能システム工学科	ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴｳﾅ ｿﾛﾂｷﾋﾅ	金・３	25･情報基盤センター４階･第４端末室	若干名	B	パソコン使用（端末室の授業）
45	ロボット工学	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	金・４	工・35	5	B	
46	基礎生理学	生命工学科	中　村　真　人	火・３	工・31	若干名	B	
47	生体医工学Ⅱ	生命工学科	中　村　真　人	月・３	工・31	10	B	
48	データ解析概論	生命工学科	黒　岡　武　俊	火・２	工学部 端末室	若干名	B	パソコン使用（端末室の授業）
49	環境衛生工学	生命工学科	山　本　辰　美	火・２	工・33	若干名	B	
50	物理薬剤学・製剤学	生命工学科	森　　英　利	火・４	工・33	5	A	
51	細胞生物学	生命工学科	篠　原　寛　明	金・２	工・33	若干名	B	
52	システム工学	生命工学科	黒　岡　武　俊	月・２	工学部 端末室	10	B	パソコン使用（端末室の授業）
53	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	水・３	イノベ(2)	若干名	B	
54	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	水・４	イノベ(2)	若干名	B	
55	生物反応工学	生命工学科	星　野　一　宏	金・２	工・32	5	B	
56	物理化学Ⅰ	生命工学科	森　　英　利	金・４	工・33	5	B	
57	無機化学Ⅰ	生命工学科	篠　原　寛　明	火・１	共 D21	若干名	A	
58	生体計測工学	生命工学科	川　原　茂　敬	火・１	工・31	5	B	
59	細胞代謝学Ⅰ	生命工学科	佐　山　三千雄	木・１	工・32	10	B	
60	高分子物性化学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	月・２	工・31	10	C	
61	分子固体物性工学	環境応用化学科	宮　崎　　章	金・１	工・24	10	C	
62	基礎化学工学	環境応用化学科	劉　　貴　慶	火・３	工・24	5	B	
63	分子構造解析演習	環境応用化学科	遠　田　浩　司	火・２	工・24	5	C	
64	特論（高分子合成化学）	環境応用化学科	中　路　　正	火・４	工・24	5	B	
65	界面材料工学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	水・２	工・31	10	C	
66	機器分析	環境応用化学科	遠　田　浩　司	木・２	工・31	5	C	
67	反応工学	環境応用化学科	椿　　範　立	木・３	工・31	若干名	B	
68	量子化学	環境応用化学科	石　山　達　也	金・２	工・24	若干名	B	
69	分析化学	環境応用化学科	加賀谷　重　浩	金・４	工・22	5	A	
70	無機材料化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	月・５	工・31	5	C	
71	有機材料工学	環境応用化学科	米　山　嘉　治	金・３	工・31	5	B	
72	粉体工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	木・２	工・23	5	B	
73	材料工学序論Ⅱ	材料機能工学科	松　田　健　二 李　　昇　原	月・２	工・22	若干名	B	
74	結晶構造解析学	材料機能工学科	佐　伯　　淳	木・３	工・32	3	B	
75	材料機能工学演習Ⅲ	材料機能工学科	柴　柳　敏　哉	火・２	工・23	5	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A 棟
- B1 B1 棟
- B2 B2 棟
- C C 棟 生協コンビニ
- D D 棟
- E E 棟
- F F 棟 [芸術文化図書館]
- G G 棟 [アリーナ]
- H H 棟 レストラン・売店（講堂）

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム

〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180

TEL　0766－25－9138　FAX　0766－25－9212

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P26 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 28 年 10 月 3 日（月）～平成 29 年 2 月 2 日（木）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている「平成 28 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月２日（金）から９月21日（水）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766−25−9138　FAX 0766−25−9212
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受け付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。
・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。
１授業科目　　9,300円（税込）
（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟１階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承くだい。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回学務チームの掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

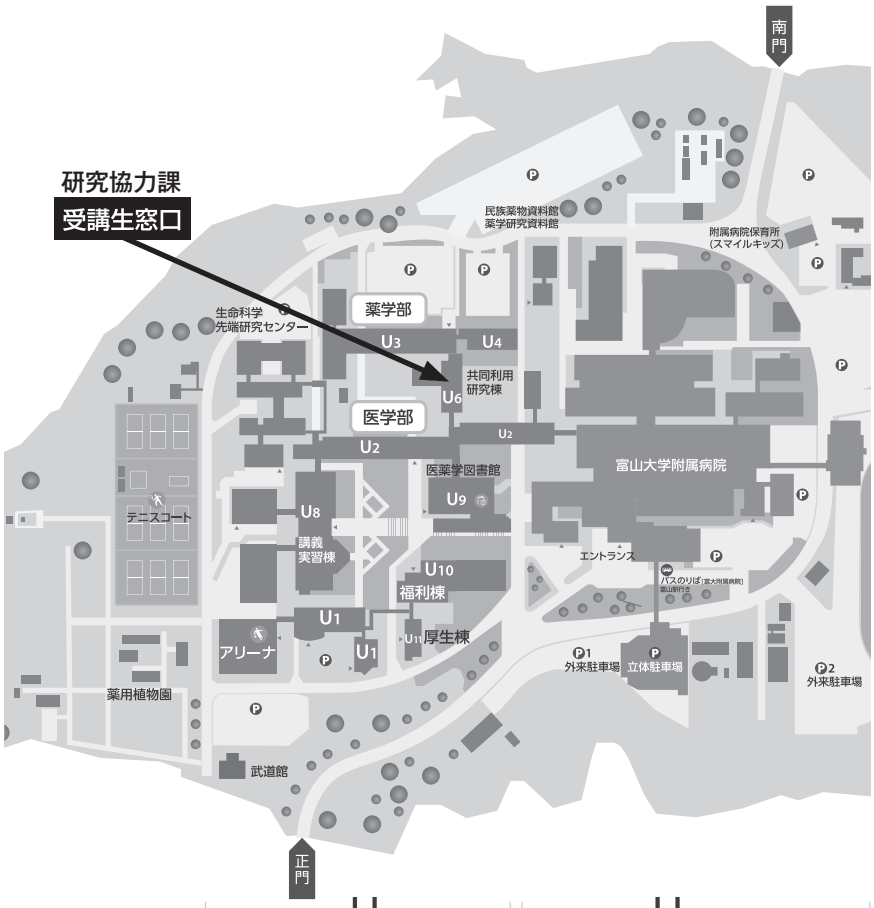
オープン・クラス授業科目一覧

学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	イングリッシュ･コミュニケーション中級２	Wilson Bruce Grahame	月３	B-211	若干名	B	10/3,10/10	英語による授業です。
2	中国語読解２	山田眞一	月３	H-291	若干名	B	10/3,10/10	ピンインが正しく発音でき、辞書が引けること パソコン使用（端末室使用）
3	英米文学入門	深谷公宣	金２	B-116	2	B	10/7,10/14	英語の詩と小説を講読します。辞書を持参ください。
4	建築とリサイクル	堀江秀夫	金２	B-117	10	A	10/7,10/14	
5	感性をはぐくむ	渡邉雅志	金２	B-212	5	A	10/7,10/14	毎回レポート課題があります。
6	色彩基礎演習	武山良三	水１	B-213	2	A	10/7,10/14	アドビ社のイラストレータ、フォトショップの基本操作が行えることが望ましい。
7	木質材料入門	堀江秀夫	水１	B-117	10	A	10/7,10/14	
8	工芸・デザイン材料	堀江秀夫	金１	B-117	10	A	10/7,10/14	
9	異文化理解文献研究（中国語）	山田眞一	火４	B-211	若干名	C	10/4,10/11	ピンインのついていない中国語が読めること
10	造形のための工学（デジタルコンテンツ技術論）	辻合秀一	金１	H-291	5	A	10/7,10/14	パソコン使用（端末室使用）
11	漆工技法・材料	高橋誠一	金３	B-210	5	A	10/7,10/14	
12	構造計画	大氏正嗣	火１	B-117	3	C	10/4,10/11	模型製作材料等を準備 要：傷害保険加入
13	構造力学１	大氏正嗣	月１	B-117	3	B	10/3,10/10	
14	建築インテリア構法（建築構法）	上原雄史	火３	B-117	若干名	B	10/4,10/11	
15	デザイン史	大熊敏之	火１	B-116	若干名	B	10/4,10/11	
16	西洋演劇史	深谷公宣	月２	B-212	2	A	10/3,10/10	
17	漆加飾Ｃ（螺鈿）	小川太郎	木４，５	D -131 D -132	若干名	C	10/6,10/13	漆塗装Ｂを受講したか、同等の技術、知識を有する事がのぞましい。専門性とある程度の技術力が必要とされます。漆かぶれの危険性も高いカリキュラムですので、ご勘案の上応募ください。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。作業服・材料費が別途必要です。13,300 円
18	造形材料（金属材料１）	長柄毅一	水２	E-456	若干名	B	10/5,10/12	造形金属材料基礎の講義を受講しているか、それに相当する知識を有していることが望ましい。
19	比較美術史入門（美術史学基礎）	大熊敏之	水１	B-116	若干名	A	10/5,10/12	
20	西洋美術史Ａ	松田愛	木１	B-212	5	A	10/6,10/13	教科書を購入していただきます。
21	漆工素地制作Ｂ	小川太郎	火２，３	D-130	若干名	C	10/4,10/11	漆塗装Ｂを受講したか、同等の技術、知識を有する事がのぞましい。専門性とある程度の技術力が必要とされます。漆かぶれの危険性も高いカリキュラムですので、ご勘案の上応募ください。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。作業服・材料費が別途必要です。13,300 円
22	東洋美術史料講読	三宮千佳	火３	H-283	若干名	A	10/4,10/11	
23	風景鑑賞史	奥敬一	火４	C-437	若干名	B	10/4,10/11	講義の中で実施する机上演習では簡単な三角関数の知識を要する。表計算ソフトあるいは関数電卓で三角関数を扱えることを前提とする。
24	西洋美術史講読	松田愛	火２	H -282	5	B	10/4,10/11	英語の文献を読みます。

※教室の収容人数の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。
※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



医学部

- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟

薬学部

- U3 薬学部研究棟

- U6 共同利用研究棟
- U8 講義実習棟
- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟

<杉谷キャンパス受講生窓口>

富山大学　研究協力課

〒 930-0194　富山市杉谷 2630

TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P32 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 28 年 10 月３日（月）～平成 29 年２月２日（木）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 28 年度後学期授業日程でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月２日（金）から９月21日（水）まで** に下記杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　研究協力課
〒930-0194　富山市杉谷2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受け付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

　自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務課　学部教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１３１

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	英語Ⅳｃ	キタノ　アスカ	金・4	201	2	B	10/7	15回
2	異文化理解	ヨフコバ四位 エレオノラ	月・1	401	5	B	10/3，10/17	15回
3	数理科学	笹　野　一　洋	月.・3	202	若干名	A	10/3，10/17	15回
4	自然現象のモデル化とその解析	笹　野　一　洋	金・2	203	若干名	B	10/7，10/14	15回
5	線型代数学	笹　野　一　洋	火・2	302	若干名	A	10/4，10/11	15回

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

平成 28 年度後学期
富山大学　オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学部名等		
授業科目	番　号 （　　）	
担当教員		
授業曜日・時限	曜日　　限	
授業でのパソコン使用	（該当する方に○を付けてください） 有　・　無 （有の場合） 端末室の授業 ・ Moodle 使用	※科目一覧の備考欄に「パソコン使用」とある場合に、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となります。

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**９月２日（金）から９月 21 日（水）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や、緊急情報を携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

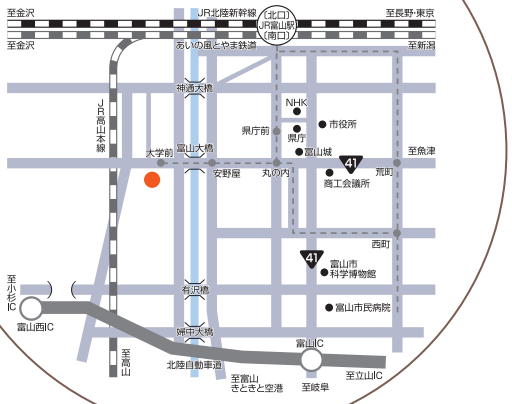
＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190

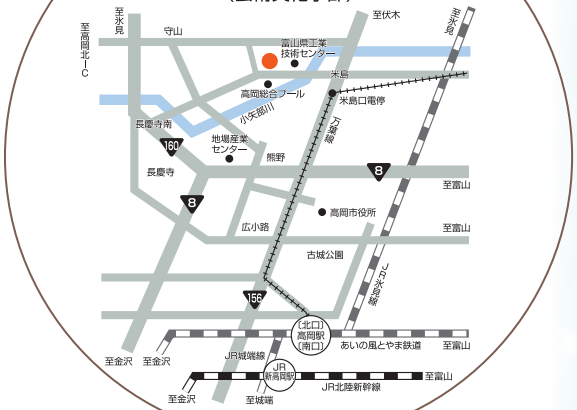
（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180

（芸術文化学部）



杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630

（医学部、薬学部）



富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033

ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/

Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。